

新しい風。希望を拡げる

— 2017 年度会長の就任にあたって —

東京弁護士会会長 瀧上 玲子

この度、2017年度東京弁護士会会長に就任いたしました。6名の信頼する副会長とともに、監事・常議員のみなさまの理解を得ながら、新しい風となって希望の拡がる弁護士会を創っていきたいと考えます。

弁護士のおかれている状況に閉塞感ということがよく使われます。しかし、私は弁護士が閉塞感しか持っていないとは思っていません。東日本大震災後、被災者、原発事故被害者支援の活動は若手弁護士を中心に行われてきました。私たちは智慧を出し合い、協働してきました。

若手の希望とエネルギーを活用し、先達の経験と智慧を融合させる、そして、社会が弁護士を求め、それを弁護士が実感し、やりがいをもって仕事をする、希望の拡がる弁護士会にしていかなければなりません。

そのためには弁護士の存在意義を社会に強くアピールし、弁護士、弁護士会に対する市民の理解を深めることが重要です。市民と弁護士との双方向のアクセスを容易にし、市民の権利擁護に努めるとともに、弁護士業務の基盤を拡充していきたいと考えます。

また、弁護士の活動領域を拡大することで、様々な分野で法の支配を担う新たな弁護士像を提示していきたいと思います。

◆ 市民に寄り添う司法を築く

昨年、世界の政治や経済が大きく変動し、2017年はその影響を受けてわが国も先行きに不透明感がただよっています。憲法改正に関する議論や安保法制による駆けつけ警護も始まり、憲法の基本原則である立憲主義、恒久平和主義が脅かされる不安も生じています。

私たちは、弁護士が市民のための頼もしい権利の護り手であり、信頼し得る正義の担い手であることを、改めて自覚し、大きく変動する社会の中で、市民に寄り添う司法を築いていかなければなりません。

私は、市民に信頼される弁護士会を目指して、これら諸課題に真摯に取り組みたいと考えます。

- * 司法アクセスの改善に取り組む
- * 市民に信頼される民事司法の改革を前進させる
- * 新たな刑事手続における冤罪・誤判の防止に取り組む
- * 安保法制と憲法改正問題に取り組む
- * 人権諸課題に取り組む
- * 男女共同参画のさらなる伸展を図る
- * 弁護士の不祥事防止策を強化する

◆ 弁護士の希望を拡げる

弁護士は基本的人権の擁護と社会正義の実現を使命とし、他の士業とは異なり、自治を保障されている公的な存在です。法曹人口の増大は、法の支配を社会のすみずみにという司法改革の理念を大きく前進させた一方、弁護士の経済的基盤を脆弱化させています。

私たちは、弁護士の責務に対する制度的保障である弁護士自治を堅持しながら、大きく変動する時代に適応した新たな弁護士像を見つけていかなければなりません。弁護士の希望を拡げるための諸施策に全力で取り組んで参ります。

- * 司法試験合格者1500人を早期に実現し、安定化させる
- * 司法修習生に加え、貸与制世代への経済的支援策に取り組む
- * 法曹志望者の増加に取り組む
- * 弁護士の活動領域の拡大に取り組む
- * 若手弁護士に対する支援を拡充する
- * 弁護士の質を高めるための研修を強化する

会員の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

2017年度の役員に

誌上インタビューを行いました。

1年間よろしくお願いいたします。

質 問

- ① 一番関心のあることは何ですか？
- ② 一番大切にしていることは何ですか？
- ③ 長所・短所、趣味は何ですか？
- ④ 座右の銘は何ですか？

希望の広がる弁護士会を

会長 瀧上 玲子 (35期)



- ① 市民と弁護士との双方向のアクセスを容易にし、弁護士が市民に寄り添いながら、その業務の基盤を拡充すること、そして弁護士の活動領域を拡大するために様々な工夫をしていくということです。
- ② 責任を果たすという強い思いを持って、前に踏み出していくことが今の自分にとって大切なことだと思います。
- ③ 長所も短所も見極めが早いことです。決断

は早いのですが、熟考することも大事な時があると思います。趣味は昔テニスでしたが、今は太極拳をしています。

- ④ 「為せば成る」。「為さねば成らぬなにごとも、成らぬは人の為さぬなりけり」と続く上杉鷹山のことばです。大正生まれの亡父がよく口にしていました。古くさいことばですが、自分を鼓舞するにはよい言葉と思っています。

弁護士自治の堅持を

副会長 遠藤 常二郎 (39期)



- ① 弁護士自治の堅持です。弁護士会が、弁護士不祥事を撲滅させるため、自らを厳しく律し、自浄作用を発揮することによって、真に市民から信頼される弁護士会となりうると思います。また、若手弁護士を経済的、業務面で支援し、研修等の機会を増やし、将来の弁護士会の担い手となるよう育成しなければ、弁護士自治の人的な基盤が失われてしまいます。ベテラン弁護士の立場から、若手会員に対する支援や育

成の方法を工夫できたらと思います。

- ② どんな状況においても「明るく楽しく生きる」ということ
- ③ 長所は物事にくよくよしない性格、ラテン系ともいわれています。短所は、飽きっぽいことです。趣味はゴルフと薔薇づくり、一時大型二輪のツーリングにも凝っていました
- ④ 「人間万事塞翁が馬」

若手や女性など多様な弁護士が活躍できる弁護士会をめざします。 副会長 平沢 郁子 (41期)



- ① (1) 若手、女性、企業内弁護士など、会員のあり方が多様になっている現在、それぞれが活躍するために弁護士会が行うべき取り組みは何か。(2) 8100人を超える会員を擁する日本最大の単位会である東京弁護士会の会務の執行はどのようにしたら良いか。
- ② いろいろな方の意見を良く聞くことです。

- ③ 長所は、諦めずに一生懸命やることです。短所は無理しすぎることがあることです。趣味は、読書と合気道（富木流）です。
- ④ 格別ありませんが、とりあえずやってみる、でしょうか。考えすぎて何もしないと何も変わらないので、やってみることも必要だと思っています。

今、何をやるべきかを考える

副会長 磯谷 文明 (46 期)



- ① 米国のこれからです。昨年の選挙に表れた米国社会の亀裂、新政権のさまざまな政策、米国を取り巻く国際関係は、日本にも計り知れない影響を与えるものと懸念しています。
- ② 今、この時に何をやるべきかという問いに対する答えを見つけることです。そして、それを積み重ね、時々過去を振り返ることです。

- ③ 長所は協調性、短所は情に流されやすいことです。これといった趣味はありませんが、長く子どもの虐待防止のNGOなどに関わってきました。
- ④ Think globally, act locally. (地球規模で考えて、自分の持ち場で行動せよ)。一緒に虐待防止に取り組んできた友人の医師から教わりました。

澆刺とした明日のために

副会長 松山 憲秀 (46 期)



- ① 「人類の未来」人は飢えから逃れる術を獲得し、文字や音声、映像という過去を伝承する道具も手にしながら、過去から学ぶことを忘れてしまっているように思えます。折角、人類意識を芽生えさせたのに、目の前のあしたに夢中なあまり、同類相食むの愚かしさ丸出しでは、未来が心配でなりません。
- ② 「自由」縛られない、囚われない、澄んだ眼差しで、遠望する姿勢を追求していきたいと思っています。
- ③ (1) 長所・短所：短所と向き合おうと努めていること・これといった長所が見当たらないこと。「身の丈を弁えたい、伸ばしたい」という

欲求は強いんですが、どうも思うに任せません。澆刺感がなくて、ごめんなさい。(2) 趣味：航空機・野生動物・乱読・バッハ・ゴルフ。私は、一部ではゴルフ大好き人間として認知され、自覚も十二分ですが、バッハは楽譜をめめながら鍵盤作品を聴くようになって、慣れ親しんだ曲に新たな色が加わり、趣味であったことに気付かされました。

- ④ 「真の気高さとは昨日の自分を乗り越えること」一度しかない人生ですから、人との比較や評判ばかりを気にして過ごすのは勿体無い。澆刺とした明日のためにも、「乗り越えるべきは昨日の自分」を合言葉にし続けたいと思っています。

弁護士の活動基盤の確立のために

副会長 露木 琢磨 (46 期)



- ① 弁護士の活動領域の拡大、若手会員支援です。当会の若手会員に、弁護士として、より多くのチャンス、経験を得ていただきたいと考えています。
- ② 自分の知らないことにつき、語ったり、行動したりしないことです。語ったり、行動したりする前に、まず、人の

話を聞いたり、調べたりして、学ぶことを心がけています。

- ③ 長所は、辛抱強く根気があること。短所は、時間にとにかくルーズなことだと多くの方から指摘されています。現在の趣味は、下手なゴルフとちょっと下手な競馬です。
- ④ 「全ての人にやさしく」です。

市民のための活力ある弁護士会を

副会長 榊原 一久 (48 期)



- ① この社会において弁護士はどのような役割を果たすべきなのかを考えていきたいと思っています。様々な意見や利害が絡み合っていますが、一人一人の個人を尊重することが弁護士の活動の基本的指針とすべきであり、どのような立場にあっても忘れてはならないことと思います。
- ② 心身の健康を保つことです。

- ③ 長所は、うーん、楽観的なこと？ 短所は楽観的過ぎることでしょうか。趣味は、音楽を聴いたり、ランニングをしたりなどです。
- ④ 座右の銘というのかはわかりませんが、「ポジティブシンキング」を心がけています。不平不満や愚痴を言っても良いことは全くないので。なかなか徹底できませんが…。

1年間がんばります。

監事 鈴木 健二 (50 期)



- ① 監事として関心があることは、会財政に関する情報をどうすれば会員に分かりやすく提供できるかです。個人的に関心があることは人工知能が将来どこまで発展していくかです。
- ② 仕事上大切にしていることは「バランス感覚」です。生活面で大切にしていることは健康です（よく食べて、よく眠ることです）。

- ③ 長所は性格が穏やかなところ、単純作業を苦にしないところです。短所は、頑固なところ、一言多いところです。趣味は、漫画を読むことと映画鑑賞です。
- ④ 座右の銘は、「人間万事塞翁が馬」です。中学のときに習ってから不思議と頭に残っています。1年間よろしくお願いいたします。

信頼される弁護士会に

監事 市川 和明 (53 期)



- ① 監事として一番関心があることは会費の使途です。会員サイトで、会費が何に使われているのか一目瞭然になっていることが望ましいと思います。
- ② 一番大切にしていることは、体調を崩さないことです。
- ③ 長所は物事を前向きに考えるところです。短所は字が下手なところです。趣味はゴルフです

（下手ですが楽しんでます）。

- ④ 座右の銘ではありませんが、「努力は運を呼ぶ」を意識して物事に取り組むようにしています。これは、二十歳のころ、ふと浮かんだ言葉で、当たり前のことではありますが、結果の保証はないものの、何もしないより努力した方が結果が出る確率が高くなるという意味です。